

組織目標管理シート

年度	令和7年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・日頃から災害に対する備えをしている市民の割合 ・地域団体、民間事業者、学校など多様な主体との協働数	作成日	R7.4.1
組織名(部)	北区役所	組織名 (準部・課・機関名)	地域総務課			評価日	R8.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R7目標	R7結果	取組名称(事業名)	概要			
1	避難スペースの確保に一層努めるとともに、発災当初から円滑に避難所を開設・運営できるよう、地域住民、施設管理者、行政職員の3者連携のもと、平時からの避難所ごとの運営組織の立ち上げを推進します。	政策13-1-②	避難所運営組織の立ち上げ数(避難所数)	3避難所(累計23避難所)	8避難所(累計28避難所)	避難運営促進事業	全避難所での運営体制構築を目指し、8地区ごとにモデルとなる避難所運営組織の立ち上げを支援します。	○	今年度は、葛塚地区と長浦地区で事業を実施。両地区でそれぞれワークショップを3回ずつと避難所運営訓練を1回ずつ実施し、3月末までに新たに8つの避難所運営組織を立ち上げることができました。	運営組織未結成の避難所に対して、引き続き組織立ち上げのための呼び掛けを行っていきます。結成済みの避難所に対しては、避難所運営訓練の実施支援など、実践力強化のための取り組みを行っていく予定です。
2	自治会・町内会、地域コミュニティ協議会、市民団体などとの協働により地域課題を解決します。	行財3-2-②	コミ協会長会議 コミセンセンター長会議	4	9	・地域コミュニティ育成事業 ・コミュニティ施設の管理運営	北区全コミ協会長が一堂に会し情報交換するコミ協会長会議を開催します。また、コミュニティセンターのセンター長会議によりコミセン運営での情報共有や連携を図ります。	○	コミ協会長会議2回、コミ協事務担当者向け情報共有会を1回開催し地域課題に即した効果的な事業の重点化を図りました。そのほかセンター長会議に出席(6回)し、コミセン運営について意見交換や情報共有を図りました。	引き続き、会長会議やコミ協事務担当者向け研修などを通じた地域による活動の取り組みや、コミセンの円滑な運営を支援していきます。
3	自治会・町内会、地域コミュニティ協議会、市民団体などとの協働により地域課題を解決します。	行財3-2-②	地域(講座参加者)、大学(講師・学生)、市で連携した交流会の実施	実施	実施	大学連携「未来のまちづくり」事業	「区ビジョンまちづくり計画」の重点事項である「若者との協働によるまちづくり」を実現するため、大学の専門的知見を活かした、まちの活性化につながる取り組みを支援します。	○	健康・スポーツ・防災の分野において、計26回の講座を実施し、延べ46名が受講しました。また、講座終了後には講座参加者を対象とした交流会を開催し、大学関係者および区職員との意見交換を通じて、講座の感想や北区での暮らしの中で感じていることを共有しました。	今年度の課題や参加者の意見を踏まえ、多世代かつより多くの方に参加してもらえる講座となるよう、大学と協議を行います。

組織目標管理シート

年度	令和7年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・文化芸術活動(鑑賞含む)を行う市民の割合	作成日	R7.4.3
組織名(部)	北区	組織名 (準部・課・機関名)	地域総務課 (北区郷土博物館)			評価日	R8.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R7目標	R7結果	取組名称(事業名)	概要			
1	市民が文化芸術に気軽に鑑賞・体験・創作・発表できる機会を充実させます。	政策2-1-①	北区郷土博物館の来館者数及び関連事業参加者数	7,500人	4,727人	常設展の充実 魅力ある企画展の開催 こども作品展の開催 夏休み体験教室の開催 小学生に対する地域学習の支援 市民ボランティアの活動支援	常設展「阿賀北の大地と人々のくらし」を展示するとともに、魅力ある企画展を開催し市民が文化芸術に親しむ機会を創出します。 子どもの夏休み体験企画、こども作品展の開催、小学生への昔の道具を学ぶ学習の支援を行います。	×	来館者数(4/1～3/31)は3,860人。 館外事業参加者は8件867人。 市民が文化芸術に気軽に鑑賞等できる機会を提供したが、来館者数は今年度から観覧料を有料としたことで当初の計画を大きく下回りました。	来年度は常設展示の充実に重点を置いた取り組みを行います。 企画展は協議会委員からも提案のあった周年に着目したテーマを開催し、マスコミへの働きかけを行います。 講座や講演会等イベントの回数を増やし、市民の興味関心を喚起し来館者数に反映させます。
2	新潟市の歴史・文化の特性を物語る文化財や民俗芸能など、地域に根差した文化について、多様な主体との連携・協働により調査・研究を行うとともに、市民がその価値を認識する機会を創出します。また、担い手育成の支援などを通して、文化財等の保存・継承を行います。	政策2-3-①	有償刊行物の年間販売額 葛塚縞手織りの図録作成、郷土芸能公演開催	150,000円 葛塚縞手織りの図録作成 郷土芸能公演開催	98,450円 葛塚縞手織りの図録を作成 郷土芸能公演を開催し参加者540人	資料の収集、調査研究 刊行物の作成、配布・販売 郷土芸能実演会の開催 歴史・民俗等に関する講座開催	北区の歴史・文化の特性を物語る文化財や民俗芸能等について、市民がその価値を認識する機会を創出します。 当館所蔵文化財等の保存に努めるとともに、地域に残る文化財等の保存・継承を支援します。	△	有償刊行物の販売は89冊98,450円。 刊行物の販売額は来館者の減少が影響して目標を下回りました。 葛塚縞手織りの図録作成、葛塚縞手織り技術伝承講座の開催、郷土芸能公演の開催などにより地域の文化の価値を認識する機会を創出し、担い手育成の支援を行いました。	刊行物はInstagram等での紹介など工夫し、ウェブを通じて通信販売も充実します。 葛塚縞手織り、郷土芸能の担い手が確保できるよう支援を継続します。
3	市民の声を聞きとり、政策・施策に反映させるとともに、様々な市政情報を効果的な発信手段を用いて市民へわかりやすく伝えることで、政策・施策の効果を高めていきます。	行財1-1-①	広報媒体を活用した情報発信数 広報の充実	190 Instagramの活用	226 Instagramの活用 ホームページのリニューアル	新聞、ホームページ等による情報発信	新聞等のマスメディア、ホームページ等を活用して当館の活動を市民にわかりやすく伝えて施策の効果を高めていきます。	○	広報媒体での情報発信数は226件。 企画展等に関する広報を新聞、区だより、ポスター、雑誌、ウェブ、SNSを通じて発信しました。 ホームページはリニューアルを行い見やすくするとともに、郷土芸能公演の映像を見ることができるようになりました。 Instagramは間を置かずアップするよう心がけ、閲覧数、フォロワー数も増加しました。	次年度も引き続き、様々な手段を用いて広報活動に努めるとともに、来館者増につながるよう広報の充実を図ります。

組織目標管理シート

年度	令和7年度			(参考) 関連する総合計画における政策指標	・市内の陸域における生物多様性保全に資する地域の割合 ・交通事故死者数・重傷者数 ・仕事に対する職員満足度 ・行政サービスのデジタル化により、利便性が向上したと思う市民の割合	作成日	R7.4.3
組織名(部)	北区役所	組織名 (準部・課・機関名)	区民生活課			評価日	R8.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R7目標	R7結果	取組名称(事業名)	概要			
1	自然環境を環境教育や自然体験の場、地域づくりの場、ふれあいと憩いの場として活用します。	政策16-3-①	取り組み地区数(地区)	3	3	水辺ふるさとづくり事業	ひょうたん池や十二湯、濁川自然生態観察園で自然観察会や保全活動等を実施し、自然環境についてのふるさとへの誇りと愛着を育むとともに、次世代の担い手の育成を図ります。	○	3地区との協働で事業を実施しました。	近年は地球温暖化に起因するとみられる環境変化が見られることから、希少動植物の保護や外来動植物対策などの保全活動を地域との協働で行っていきます。
2	関係機関・団体と連携し、各世代における段階的かつ体系的な交通安全教育や、様々な機会を捉えた啓発活動を行います。	政策12-1-②	交通安全教室実施回数(回)	60	61	交通安全教室の実施	交通安全指導員を中心に保育園や小学校、高齢者施設などで交通安全教室を行います。	○	こども園・保育園 45回 小学校 10回 高齢者 6回	高齢者の交通事故は全事故の4割を占めており、高齢者の交通事故防止は喫緊の課題となっています。子どもたちだけでなく、高齢者に対する交通安全教室にも力を入れていきます。
3	職員一人一人の能力や意欲を最大限引き出すための人材マネジメント機能を強化します。	行財1-4-①	職員向け研修実施回数(回)	5	5	職員向け研修の企画・実施	各係がテーマを設けて研修会を企画し、課内研修を実施します。	○	補佐・各係で企画実施 補佐・税保険料・給付:12/9集合研修 区民窓口:12/4全区の係長・担当者会議(支援措置) 生活環境:2/20建設、地域総務、3課目線合わせ(空き家等)	研修を受講する職員だけでなく、講師となった職員も自己研鑽の場となりました。今後も社会情勢に対応した知識を深めることに努め、市民サービスの向上を図ります。
4	マイナンバーカードを活用し、誰もが時間や場所に制約されず、オンラインで手続きが行えるようにします。	行財1-3-①	マイナンバーカード普及方策の件数(件)	2	2	マイナンバーカード普及事業	マイナンバーカードの便利さを周知すると同時にカードの新規申請や更新を北区オリジナル方策によりスムーズに行い、市民の利便性とカードの普及率を向上させます。	○	①5月より、月1回北出張所での更新、申請手続きを開始。全9回の実施で更新72件、申請36件受付。 ②8/3号区だより1面にてマイナの利便性と出張所での更新手続きを広報。	②の効果により、市民に周知され、予約枠は毎回埋まり、効率よく受付できています。今後も需要が見込まれることから、継続して行っていくます。
5	市民の利便性向上と国民健康保険料の収納率の向上、内部事務の効率化を図ります。		国民健康保険加入手続きと同時の口座振替手続き(ページ)件数(件) ※参考 R6実績 395件	430	455	国民健康保険料口座振替利用促進事業	国民健康保険加入時や納付相談時において、ページを活用した口座振替手続きを勧奨し、市民の利便性向上と国保収納率向上及び、現金収納、督促などの事務軽減による業務効率化を図ります。	○	勧奨の効果で、昨年を15%上回る、455件のページを活用した口座振替を行いました。	来年度よりページ以外にオンライン申請が可能となる予定であることから、ページ件数を目標とはしませんが、様々な手法による口座振替手続きの勧奨を継続していきます。

組織目標管理シート

年度	令和7年度			(参考) 関連する総合計画における政策指標	・住み慣れた地域で安心して暮らし続けられることができると思う高齢者の割合 ・新潟市は子育てしやすいまちだと思ふ保護者の割合 ・健康寿命(日常生活に制限のない期間の平均)	作成日	R7.4.1
組織名(部)	北区	組織名 (準部・課・機関名)	健康福祉課			評価日	R8.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R7目標	R7結果	取組名称(事業名)	概要			
1	地域住民同士の支え合いのしくみづくり、支え合う地域づくりを推進します。	政策7-1-①	・地域の茶の間設置か所数(か所) ・地域の茶の間の交流会の開催	・68か所 ・交流会の開催1回以上	・67か所 ・交流会の開催1回	地域の茶の間への支援	支え合いのしくみづくり推進員を中心に、実施団体への支援や、新たな活動開始・拡充への支援を行います。	△	茶の間の設置か所数について、新規に活動を始めた団体と終了した団体があり、総数では目標より1か所減となりました。また、7月には交流会を開催し、3団体から活動報告があったほか、活発な意見交換を行いました。	今後も支え合いのしくみづくり推進員とともに、新規開催や拡充する団体への支援を行います。また、地域の茶の間の交流会は、来年度もその開催に向けて、今後、実施内容を検討します。
2	様々な講座や交流会、イベントを通じて、地域団体や関係者とともに子どもや子育て家庭を支援し、子育てを支える地域づくりを推進します。	政策4-3-③	支援講座等の実施回数(回)	24回	12回	北区子育て応援事業	・子育て支援講座や多胎児を妊娠中の人やその家族向けの交流会の開催、地域団体への子育て支援講座の講師派遣により、子育てを支援します。 ・地域団体での多世代交流カフェや子育て応援イベントの開催により子育てを支える地域の実現、こどもがすこやかに心豊かに過ごし成長発達できるような地域づくりの推進を図ります。	×	12回の内訳は以下のとおりです。 ・子育て支援講座 3回 ・多胎児向け交流会 3回 ・多世代交流カフェ 6回 このうち、毎月開催予定の多胎児交流会について、今年度は区内に対象者が少なく、開催できない月が続きました。	今後は、ニーズを把握しながら、区外の対象者への声掛けを行うとともに、その他のイベントについても、参加者の満足度に重点を置き、取り組んでいきます。
3	既存施設を活用するなど、地域との連携を図りながら、子どもたちが安心して過ごせる居場所を確保します。	政策4-1-⑤	出張の実施回数(回)	240回	240回 (延べ利用者数4,177人)	北区出張児童館事業	既存公共施設を活用し、児童館のない地域へのサービス拡充を行い、こどもの居場所づくりを推進します。	○	各月の開催数について、多い月で23回、少ない月でも16回開催するなど、1年間を通じて継続的な開催を実現することができました。	利用者や保護者、学校や地域関係者から好評のため、引き続き各地域にこどもの居場所が確立できるよう、事業を継続していきます。
4	生活習慣病の重症化予防・健康寿命延伸のため、特定健診の受診率向上に向けた取り組みを行います。	政策6-1-①	地域における健診PR実施回数(回)	200回	305回	地域における健診受診勧奨	・地域からの依頼健康教育や各種保健事業等様々な機会を利用し、北区の健康課題の周知や健診受診勧奨を行います。 ・医療機関やコミ協・学校等と連携し、健康意識の向上を図ります。	○	各種保健事業や地域からの依頼健康教育、会議等の機会に、特定健診の受診勧奨を行いました。	引き続き各種保健事業や依頼健康教育等の機会に受診勧奨を行い、生活習慣病の早期発見・重症化予防の大切さと健診受診の必要性を説明していきます。
5	職員一人一人の能力や意欲を最大限引き出すための人材マネジメント機能を強化します。	行財1-4-①	課内研修実施回数(回)	18回	23回	課内研修の実施・参加	・業務に関する課内及び係内研修を実施し、個々の職員が積極的に参加することを通じて、職員の更なる資質向上を図るとともに、より良い市民サービスの提供を目指します。	○	各係が積極的に研修を企画し、実施しました。生活保護業務に関する研修では、他区職員にも声掛けを行い、たくさん他区職員の方から参加していただきました。	課全体で自己開発に対する意識が高まっていることから、引き続き研修の企画・開催を呼び掛けていくとともに、研修に参加しやすい職場環境の整備に努めていきます。

組織目標管理シート

年度	令和7年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・新潟市は子育てしやすいまちだと思ふ保護者の割合 ・健康寿命(日常生活に制限のない期間の平均) ・自分が健康だと思ふ市民の割合	作成日	R7.4.1
組織名(部)	北区	組織名 (準部・課・機関名)	北地域保健福祉センター			評価日	R8.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標		指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R7目標	R7結果	取組名称(事業名)	概要			
1	全ての妊産婦が安心して子どもを産み育てられるように、妊娠期から出産後の切れ目ない支援を行います。	政策4-1-③	支援を必要とする妊産婦に対する相談及び訪問を実施した数(人)	対象者に対しての全数	対象者に対しての全数	母子健康手帳交付 新生児訪問 保健師等による訪問、 面接、電話相談	・月1回、支援検討会を開催します。 ・支援を必要とする対象者へ妊娠期からの切れ目ない支援を行います。	○	検討会で要支援とした322ケース全てで相談・訪問を行いました。	毎月1回検討会を開催し、支援を必要とする対象者に対して妊娠期からの切れ目ない支援を行います。
2	生活習慣病の重症化予防・健康寿命延伸のため、特定健診の受診率向上に向けた取り組みを行います。	政策6-1-①	地域における健診PR実施回数	50回	54回	地域における健診受診勧奨	・地域からの依頼健康教育や各種保健事業等様々な機会を利用し、健診受診勧奨を行います。 ・医療機関やコミ協・学校等との連携し、健康意識の向上を図ります。	○	各種保健事業の機会を利用し、健診受診勧奨や健康教育を54回実施しました。	今後も各種保健事業や健康教育の機会を利用し、健診受診勧奨を行います。
3	職員一人一人の能力や意欲を最大限引き出すための人材マネジメント機能を強化します。	行財1-4-①	事例検討会の開催(回数)	6回	6回	事例検討会 職員研修会(OJT含む)	・妊産婦や児童虐待、障がい児・者などの処遇困難事例を検討し、職員の更なる資質向上を図るとともに、より良い市民サービスの提供を目指します。	○	児童、高齢者虐待予防のため、6回事例検討会を開催しました。	児童虐待、高齢者虐待等関係機関と連携しなければ支援できない事例があり、検討会を重ね適宜対応していきます。

組織目標管理シート

年度	令和7年度		(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・一人当たり市民所得 ・文化芸術活動(鑑賞含む)を行う市民の割合 ・週1日以上スポーツをする市民の割合 ・農業産出額推計値	作成日	R7.4.1
組織名(部)	北区	組織名 (準部・課・機関名)	産業振興課		評価日	R8.3.31

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R7目標	R7結果	取組名称(事業名)	概要			
1	地域商業活性化に向けた取り組みを行い、新規誘客及び賑わいの場創出を目指します。	政策8-1-④	地域ごとのイベント等の実施(回)	3	3(延べ14回)	商店街ブランディング事業	露店市場活性化のため、うまいもん市場やこらっせ松浜市などのイベントを開催するほか、官民協働で区役所庁舎を活用した賑わいを創出します。	○	・露店市場を活用し、葛塚エリアで「うまいもん市場」を10回、松浜エリアで「こらっせ松浜市」、「ファイト松浜市」を1回ずつ開催しました。 ・区役所庁舎で「キテ・ミテ・キタ区」と「うまいもん夜市」を開催しました。	さまざまな世代や家族連れが訪れ、露店市場の活性化や区役所庁舎の賑わい創出に繋がっていることから、内容を工夫しながら取り組みます。
2	スポーツ活動を通じたスポーツを愛好できる機運を醸成するとともに、文化・芸術事業による賑わいの創出と地域の活性化を図ります。	政策3-1-①	参加者数(人)	2,000	2,319	北区エンジョイスポーツ事業	区スポーツ協会などと連携し、下記イベントを開催します。 ・競技別大会 ・ニュースポーツ体験会 ・スポーツレクリエーション ・部活動地域展開体験会	○	・競技別大会(9種目・計5日間)開催 728人 ・ニュースポーツ体験会(10/18)開催 47人 ・スポーツレクリエーション(11/16)開催 1,099人 ・中学生部活動地域展開実証事業(ソフトテニス、野球) 445人	より多くの方に参加してもらえよう北区スポーツ協会や総合型地域スポーツクラブなどと連携し、創意工夫した取り組みを行います。
		政策2-1-①	年間実利用者数(人)	40,000	51,488	北区文化会館管理運営費	指定管理者が実施する事業などを通じて北区文化会館の利用を促進します。		・新潟公演の少ない魅力ある企画展などを実施したことなどにより、利用者の増加につながりました。	
3	地域団体・市民団体と連携して、海辺の森の交流人口拡大に取り組みます。	行財3-2-②	海辺の森の交流人口(人)	15,000	13,714	キタくなるみどりの景観共創事業	地域団体・市民団体と連携して、イベントを実施します。社会実験として海辺の森キャンプ場内のテントサイトの区画整備などを行います。	×	・ボランティア活動 651人 ・イベント参加者 7,461人 ・キャンプ場利用者 5,602人	キャンプ場のオートサイト化などを実施し、指定管理者と連携して交流人口拡大に取り組みます。
4	農作業の省力化や農産物の高品質化による付加価値向上を図り、「儲かる農業」の実現を目指します。	政策9-1-② 政策9-1-③	トマト販促事業数(回)	3	3	北区トマト王国プロジェクト	県内有数産地であるトマト農家の作業効率化及び所得増加を図るとともに、新規就農者確保を行います。	△	・豊栄とまとマルシェ、PLANT5横越店、キテ・ミテ・キタ区で販促活動を実施しました。 ・トマト栽培に興味ある就農希望者2名と相談中。年度内の就農には至りませんでした。	相談中の就農希望者について、引き続き就農に向けて伴走支援を行います。
			トマト認定新規就農者数(人)	1	0					

組織目標管理シート

年度	令和7年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがあると回答した児童生徒の割合 ・道路(橋を含む)が適切に整備・管理されていると思う市民の割合 ・市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う市民の割合	作成日	R7.4.1
組織名(部)	北区	組織名 (準部・課・機関名)	建設課			評価日	R8.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R7目標	R7結果	取組名称(事業名)				概要
1	地域コミュニティ協議会などの地域団体と連携・協働しながら、学校での総合学習や部活動を推進するほか、地域における課題の解決を支援します。	政策5-3-①	官民協働によるアキグミ植栽活動に参加した人数	200人以上	200人	松浜海岸の自然環境保全と地域の魅力づくり事業	松浜海岸の砂浜を官民協働(地元小学校・住民・国土交通省・新潟市)により、アキグミの苗木を植栽し緑化することにより環境保全と飛砂対策に取り組めます。	○	松浜海岸において、官民協働によるアキグミの苗木の植栽を10月20日に実施し参加人数は200人でした。	次年度も地元の小学校や自治振興会、国土交通省などと調整を図るほか、北区各課に参加依頼を行い、同規模で実施できるよう取り組みます。
2	市民に幅広く除雪業務の啓発を行います。	政策15-1-③	啓発活動回数(回)	5	5	除雪業務の幅広い啓発活動	昨今の降雪状況や体験談を交えた除雪作業内容などを、出前講座を通じ小中学生へわかりやすく伝えます。また、市民が多く集まるイベントに除雪ブースを出展するなど、幅広く市民へ除雪業務の啓発を行います。	○	・うまいもん夜市(8/2) (延べ約200人除雪車乗車) ・キテミテキタ区(9/28) (延べ約400人除雪車乗車) ・太夫浜小学校(11/18) (5年生約50人) ・濁川中学校(11/20) (1年生約80人) ・松浜中学校(11/21) (1～3年生約20人)	今後は各種イベントや小中学校の出前講座に加え、地域からの出前講座などの要望も聞きながら、幅広い啓発活動を継続していきます。
3	冬期間の道路交通を確保するため、除雪作業の効率化を図るとともに、オペレーターの担い手確保に取り組めます。	政策15-1-③	・苦情リスト (内容と場所と業者) ・排雪場所の状況 ・協力業者の除雪能力検証など	・データ収集 ・検証 ・改善	・データ収集 (R6苦情データ、業者・自治会アンケート) ・上記の検証 ・改善 (雪山確認体制の構築、除雪担当路線組替) ・R7情報の入力	除排雪の効率化	除雪業務を遂行する上で、データを継続的に蓄積し、検証と修繕を毎年実施することで冬期交通確保の効率化を図ります。	○	業者アンケートの実施や昨年度の除雪稼働時間を検証し、除雪担当路線組替を行い、作業の効率化を図りました。 また、次年度に向けた業務効率化を図るため、除雪引継ぎデータにR7の情報(積雪状況、苦情、課題等)を入力し、検証の準備を整えました。	雪山については継続してデータの蓄積を行うとともに、地域・除雪協力業者・区の3者で除雪について連携を図り、地域と除雪現場のギャップを埋めていくなど、さらなる冬期交通確保の効率化に取り組んでいきます。
4	市民の信頼と期待に応えられるよう、職員の市民対応の質を向上させるなど市民の視点を大切にしたい信頼される市政を推進していきます。	行財1-1-①	研修会発表実施数(回)	6	6	専門知識の向上及び情報の共有化	庁内外を問わず研修会等に参加し修得した知識の共有化を図るため、課内研修を実施することにより、職員のプレゼン能力も高めながら、より良い市民サービスの提供に努めます。	○	課内のスケジュールを調整し、前期は3回、後期3回の課内研修を実施しました。 (14項目)	今後も課内研修会を実施し、情報共有、知識共有を行い、窓口業務などのサービス向上につなげます。
5	工事の品質を向上させることで道路や公園が市民により安心・安全に利用されるよう、工事を適切な時期に適切な施工体制により実施するため、工事の早期発注と余裕のある工期設定に努めます。		上半期の工事発注率(実績本数／当初計画本数)	85%以上	86.8%	上半期における高い工事発注率の維持	自治会要望等に基づき年度当初に箇所付けされた工事件件について、実施に向けた関係機関との適切な協議・調整及び計画的かつ早期の発注に取り組めます。 当初計画工事本数:87本 (建設グループ)	○	担当係長から、毎月行う進捗報告会にて、発注状況を把握し、その都度目標達成に向け助言しました。 発注率86.8%(66本/76本) ・次年度対応 1本 ・地域との再調整 2本 ・平準化 8本 →11本減	引き続き、適切な施工時期・施工体制による品質確保に努めます。

組織目標管理シート(後期)

年度	令和7年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う市民の割合 ・仕事に対する職員満足度 ・地域活動に参加した経験のある市民の割合	作成日	R7.4.1
組織名(部)	北区役所	組織名 (準部・課・機関名)	北出張所			評価日	R8.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R7目標	R7結果	取組名称(事業名)	概要			
1	迅速・丁寧・正確な窓口対応に努め、市民サービスの向上及び業務の効率化を図るため事務改善を行います。	行財1-1-①	窓口事務・内部事務に係る改善提案件数(件)	4	31	・窓口アンケートの実施 ・窓口アンケートの意見等を参考に課題を把握し、窓口事務や内部事務の改善・提案を実施	・北出張所2担当及び2連絡所から1件以上の改善提案をします。 ＜目標値＞ ＝(北出張所2担当＋2連絡所)×1件	○	・8月に窓口アンケートを実施し、9月に評価分析を行いました。 ・10月にアンケート結果をもとに改善提案をまとめ、随時改善実施。	・お客様の声を聴く貴重な機会ととらえ、今後とも窓口アンケートを継続し、市民サービスの向上に努めていきます。
2	質の高いサービスを提供するため、係を超えた複数の業務を行うことができるなど、職員の実務能力の向上に取り組めます。	行財1-4-①	各種研修会・講習会等への参加延べ回数(回)	32	49	・業務専門研修等への参加 ・担当間及び出張所や連絡所間の相互応援体制を可能にするための職場内研修の実施	・研修対象職員1人平均2回以上の研修や講習会等に参加します。ただし、ハラスメント研修やコンプライアンス研修などの必須研修はカウントしません。 ＜目標値＞ ＝対象職員16名×2回＝32)	○	・職員が積極的に研修に参加できる環境や協力体制を整え、計画どおり目標を達成しました。	・ニーズの多様化や専門性の向上など窓口担当職員を取り巻く環境は年々厳しくなっています。 ・職員のスキルと意識向上を目指し、今後とも積極的に職員研修を進めて行きます。
3	地域課題を情報共有しながら、地域団体の活動を支援します。	政策1-1-①	各地域団体の会議・行事等への参加又は支援した件数(件)	87	88	・各地域団体の会議や行事等への参加 ・各地域団体への支援	・北地区の地域コミュニティ協議会や自治振興会などの会議や行事等へ参加し、地域課題について情報共有を図り、課題解決に向け助言等を行い、地域団体の活動を支援します。 ＜目標値＞ ＝前年度実績	○	・各施設の職員が積極的に地域活動支援のため、各種イベント等に参加して目標を達成しました。	・地域に信頼される出張所として、今後とも地域団体への支援活動を積極的に行って行きます。